

長坂

玄海に 波音高く

平戸市立生月中学校
学校だより 第11号
(令和5年 9月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏みかし』

生徒会 平戸の未来を決める第一歩 ～ 生徒会交流会・ふるさとプロジェクト会議 ～

8月3日(木)、今年度の「生徒会交流会」と「ふるさとプロジェクト会議」が開催されました。交流会では、アイスブレイキングの後、市内各中学校の生徒会の代表が、各校の活動を紹介しました。また、今回も『ふるさとHIRADOの発展のために みんなで動き出そう!』をテーマに、ふるさとプロジェクト会議が開催され、子どもの視点からの提言・意見交換が行われました。

本校では、生徒会役員全員で、夏休みに何回も集まって、工夫を凝らした活動紹介の動画づくりや、他校からの提言への質問・意見の原稿づくりなどの準備を行いました。そして、当日は、代表の白石真央さんと寺田菜桜さんの2人が、本校生徒会の活動を紹介するとともに、他校からの提言への質問・意見発表を行いました。

代表生徒の2人はもちろん、生徒会本部役員の皆さん、お疲れ様でした。よく頑張りましたね。



優秀賞(NHK賞)『言葉に想いを』 ～ 第45回「少年の主張 長崎県大会」出場 ～

8月25日(金)、「わたしの主張2023」と題して、第45回「少年の主張 長崎県大会」が、各市町の代表12名が集まって、大村市のシーハットおおむらで開催されました。平戸市からは、6月の市の大会で最優秀賞を獲得した本校3年生の白石真央さんが、市の代表として出場しました。白石さんは、県大会出場が決まってから、担当の小楠先生とともに、原稿を再考したり、何度も練習を重ねたりして、当日の県大会に臨みました。

当日は、たくさんの聴衆を前に、『言葉に想いを』という表題で、小さい頃から取り組んでいる書道の経験を踏まえ、言葉に想いを乗せ、愛を込めることの大切さを、緊張感に負けることなく、堂々と発表してくれました。

審査の結果、見事、「優秀賞(NHK賞)」を獲得しました。おめでとう! 発表順がトップバッターということもあり、惜しくも全国大会への切符は逃しましたが、後日、参観していた平戸市の関係者の方から、「とても素晴らしいかった。発表順が違っていたら最優秀賞だったかも・・・。」というお言葉とともに、発表の様子を写したお写真をいただきました。本当にありがとうございました。

なお、今回、優秀賞(NHK賞)に輝いた白石さんの『言葉に想いを』の主張は、10月27日(金)に本校で行われる「生月文化の日」の時に、保護者の皆様や地域の皆様にもお聞きいただくようにしております。



同時流行にご注意を!! ～ 新型コロナ・季節性インフルが流行中 ～

9月に入り、地域や高校、小・中学校で、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの罹患者が増加しています。季節の変わり目でもあり、寒暖の差があったり、夏の疲れが出やすかったりする時期であることも関係しているのかもしれませんが、感染しても症状は比較的軽いようですが、新型コロナ、季節性インフルとも、高齢者や持病のある方々には、特に注意が必要です。「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣を整えることを心掛け、感染防止のために必要なことを「自ら考え、正しく判断し、進んで行動する」ようにしましょう。